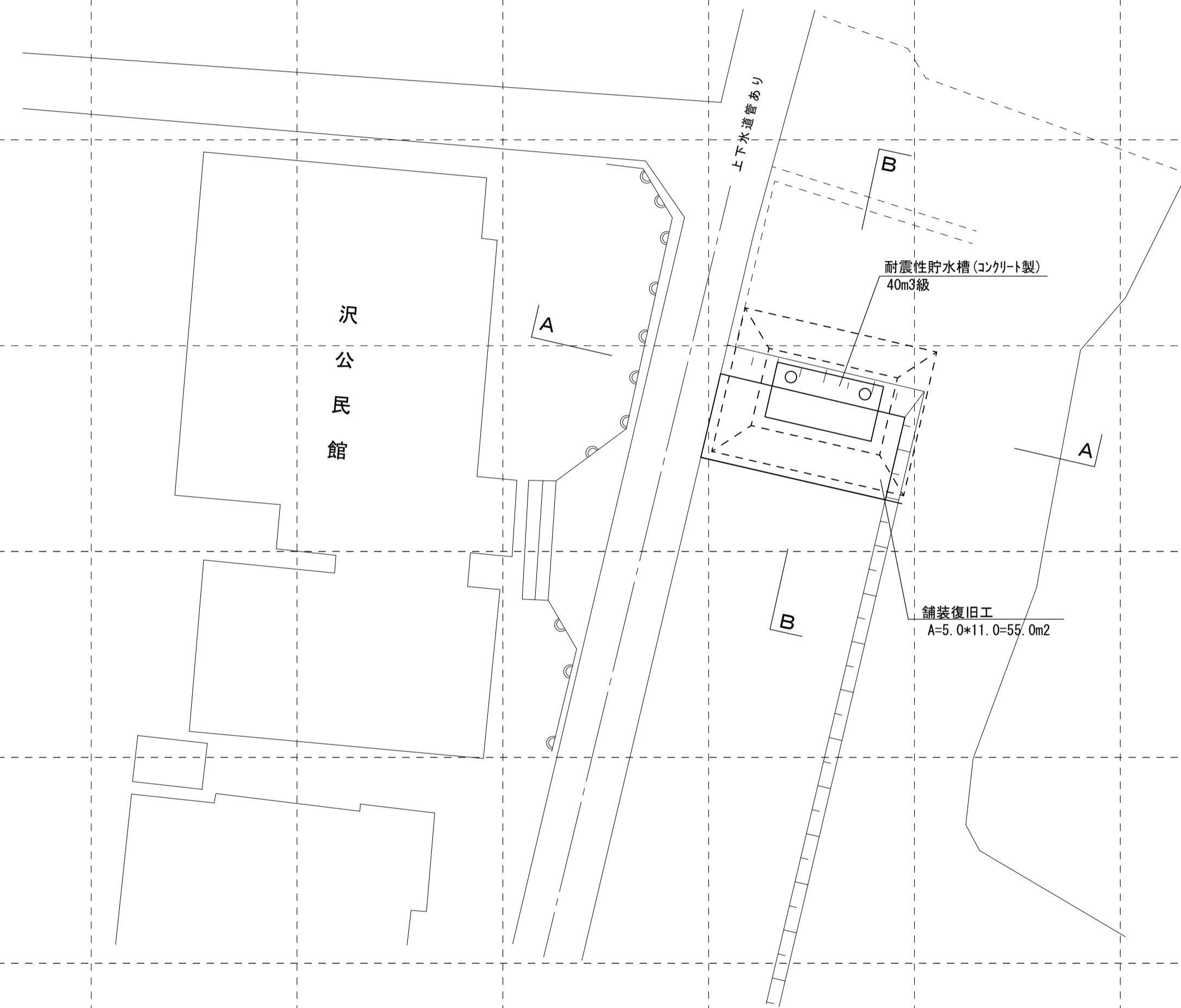
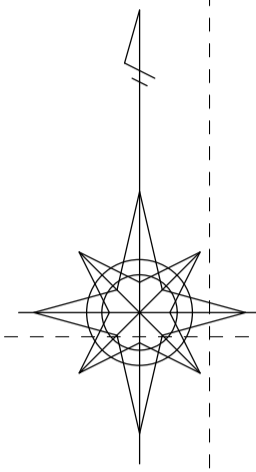
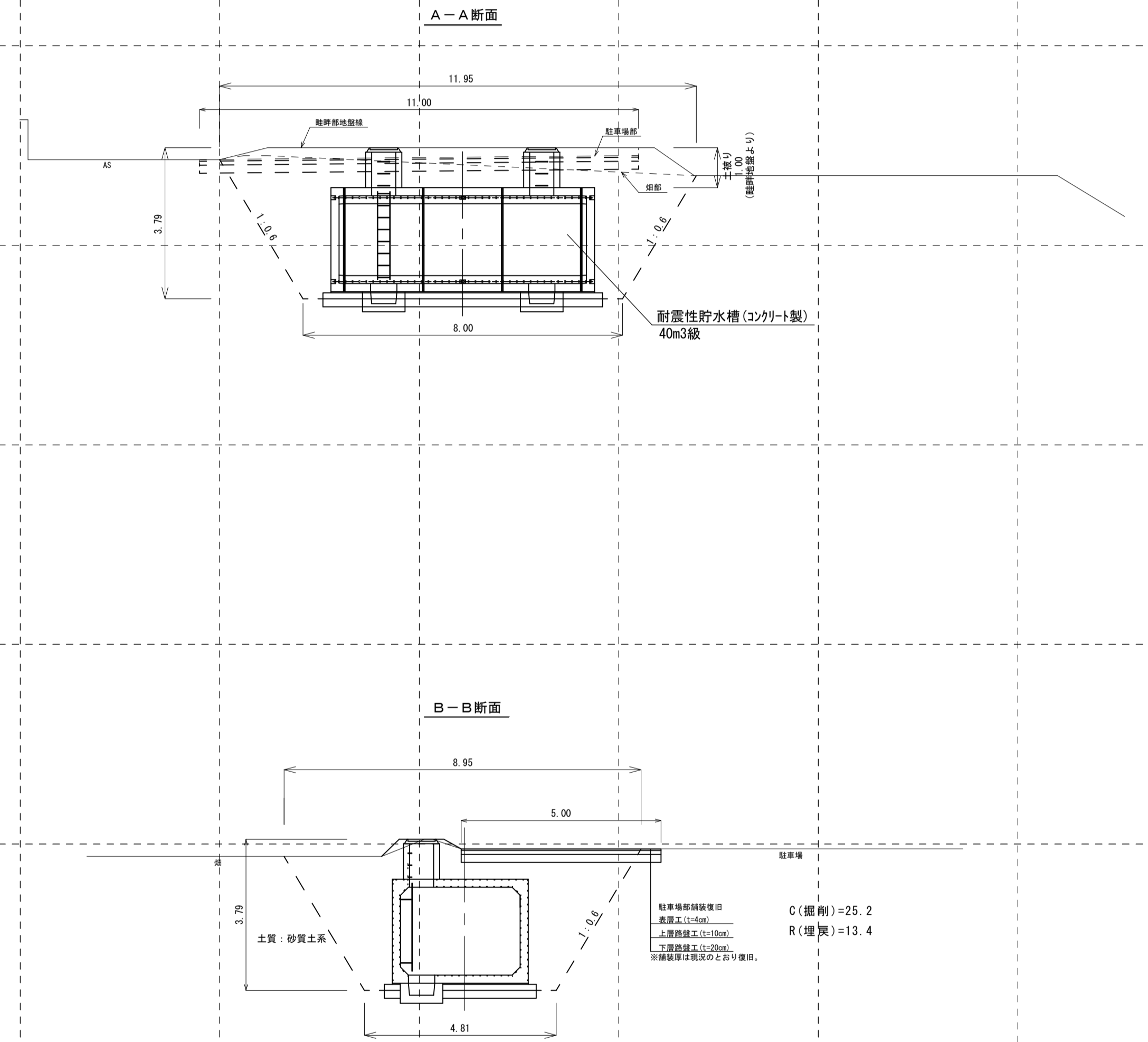


平面図
S = 1 : 250



横断図
S = 1 : 100



平成26年度 耐震性貯水槽設置工事			
番号	1 /	平面・横断図	縮尺 図示
箕輪町 沢			
町長	課長	照査	設計
箕輪町役場			
設計会社		管理技術者	
測量会社		照査技術者	
調査会社		主任技術者	
		主任技術者	

二次製品耐震性貯水槽(40m³) 構造図

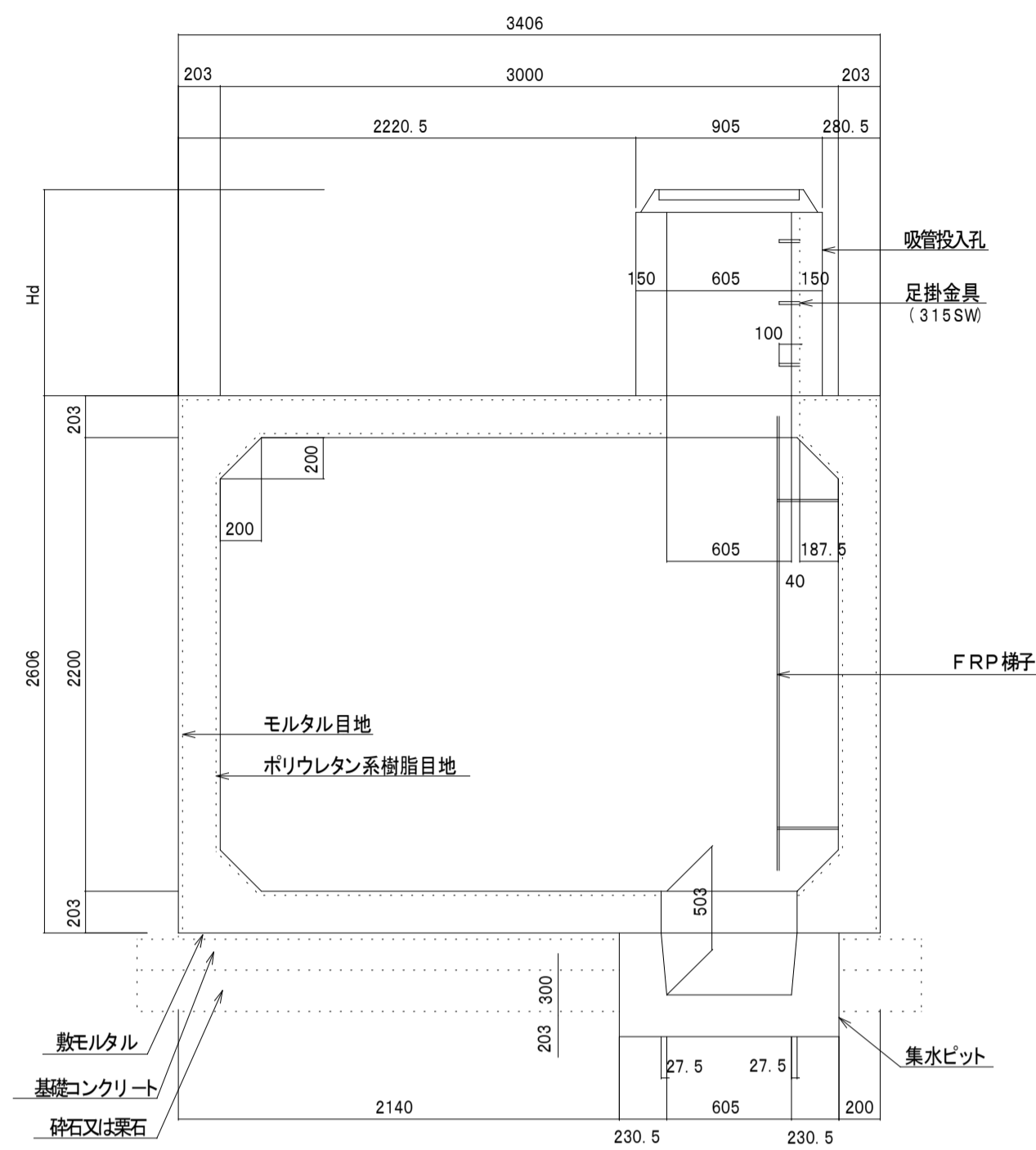
S=1/30

二次製品耐震性貯水槽(40m³) 明細書

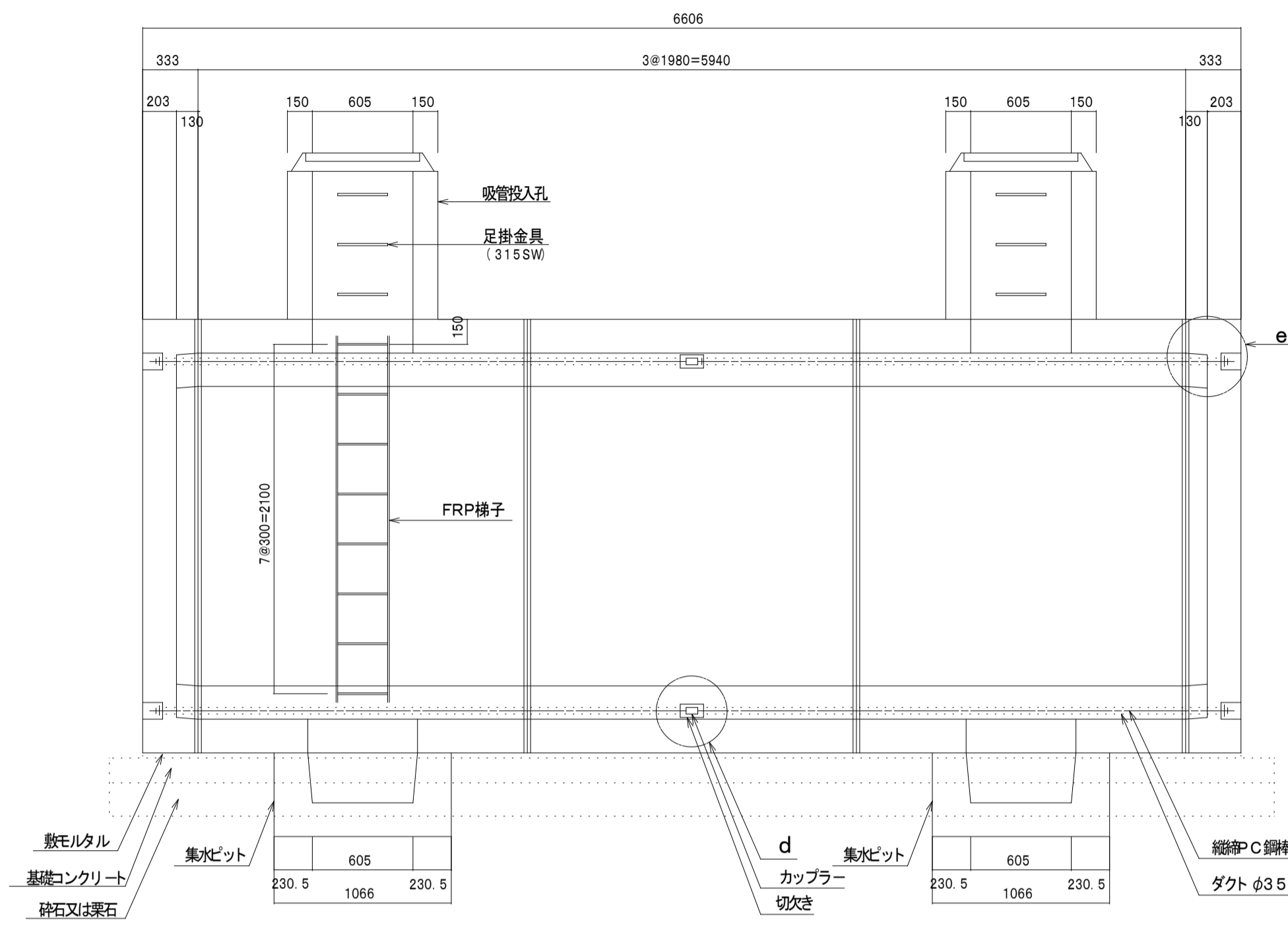
型式記号	ASH322C- I 型N-0.1/1.0		
認定番号	ASH322C- II 型N-0.1/1.0		
容量	耐-00011-1号		
設置場所	40 m ³		
荷重	II型(道路用)		
土かぶり	10 kN/m ² , T-20		
土かぶり	Hd = 0.1 ~ 1.0 m		
主材料	細目	数量	備考
Bブロック	3000×2200×1980	1個	切欠付
Cブロック	3000×2200×1980	2個	人孔型
Dブロック	3000×2200×333	2個	背面版
吸管投入孔ブロック	φ605, H=	1個	
吸管投入孔ブロック	φ605, H=	1個	
集水ビットブロック	φ660, H=503	2個	
FRP梯子			1個
縦締PC鋼棒	SBPR-930/1080-φ13, L=3265	8本	
カップラー	φ13用	4個	縦締用
定着具	φ13用 ナット、ワッシャー、アンカープレート	8組	縦締用
取付用金具	M20ボルト、ワッシャー	10組	集水ビット用
受枠及び蓋	φ600	2組	
取付用金具	鉄筋φ16(M16ネジ切り)、又は全ネジボルトM16 ナット、ワッシャー	6組	吸管投入孔及び受枠用

※ 吸管投入孔ブロックの数量は土かぶりにより決定する。
 ※ 吸管投入孔及び、集水ビットの位置は変更可能。打ち合わせを必要とする。
 ※ FRP梯子はオプション取付とし、梯子の有無、数量及び位置は打ち合わせを必要とする。

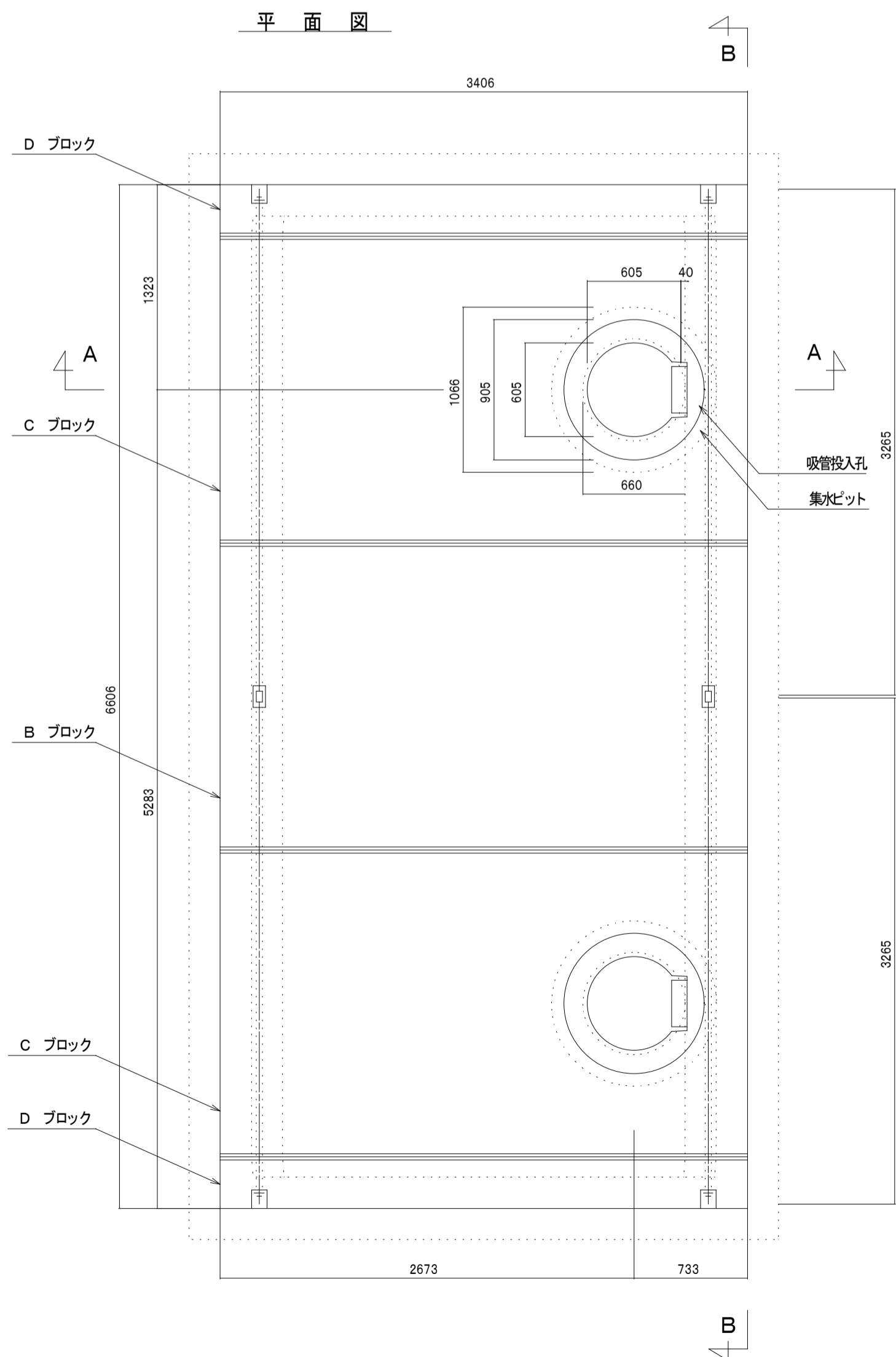
断面図 A-A



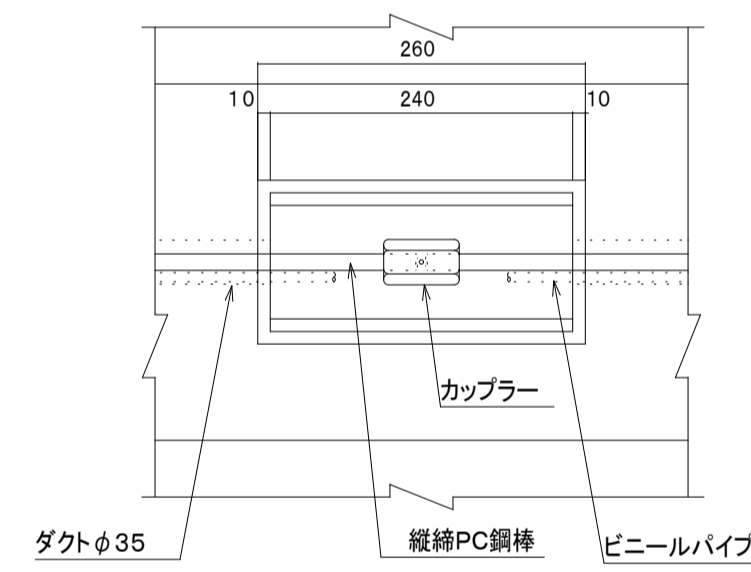
側面図 B-B



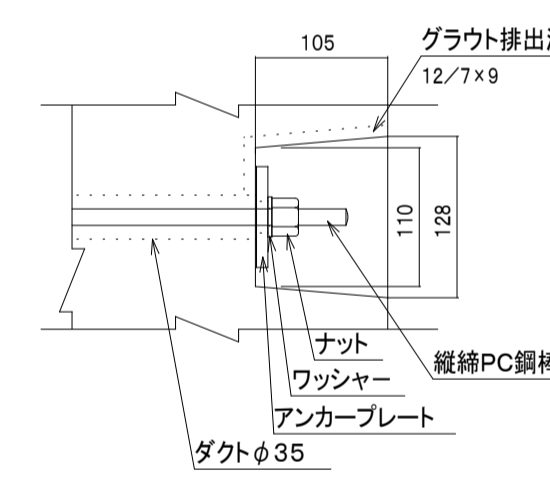
平面図



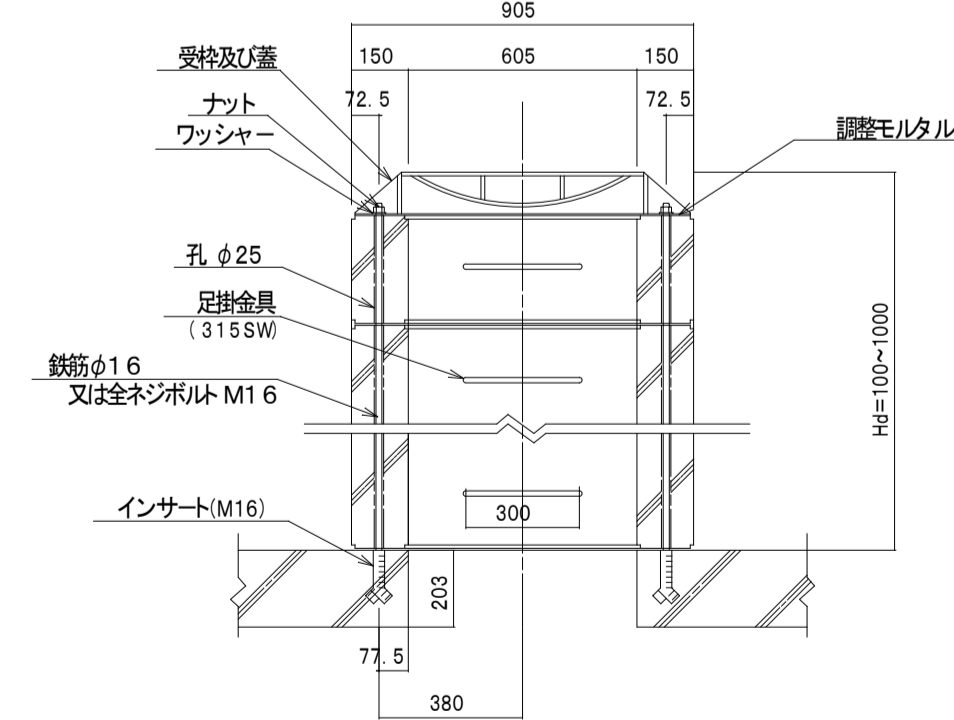
d部詳細図



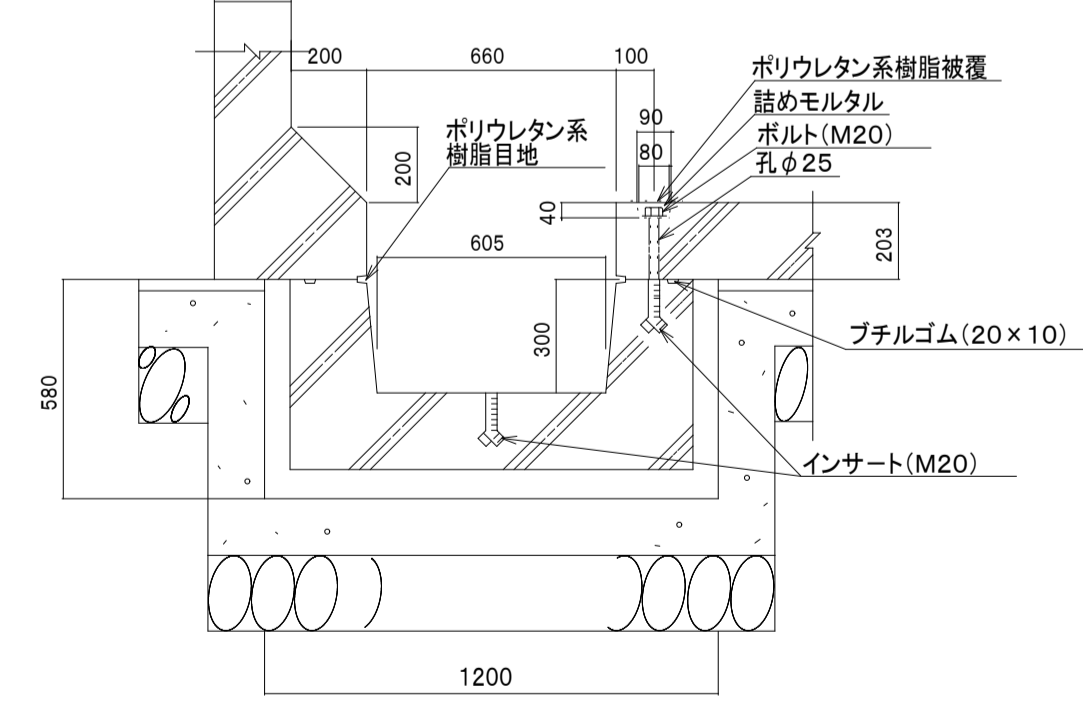
e部詳細図



吸管投入孔 S=1/20 断面図

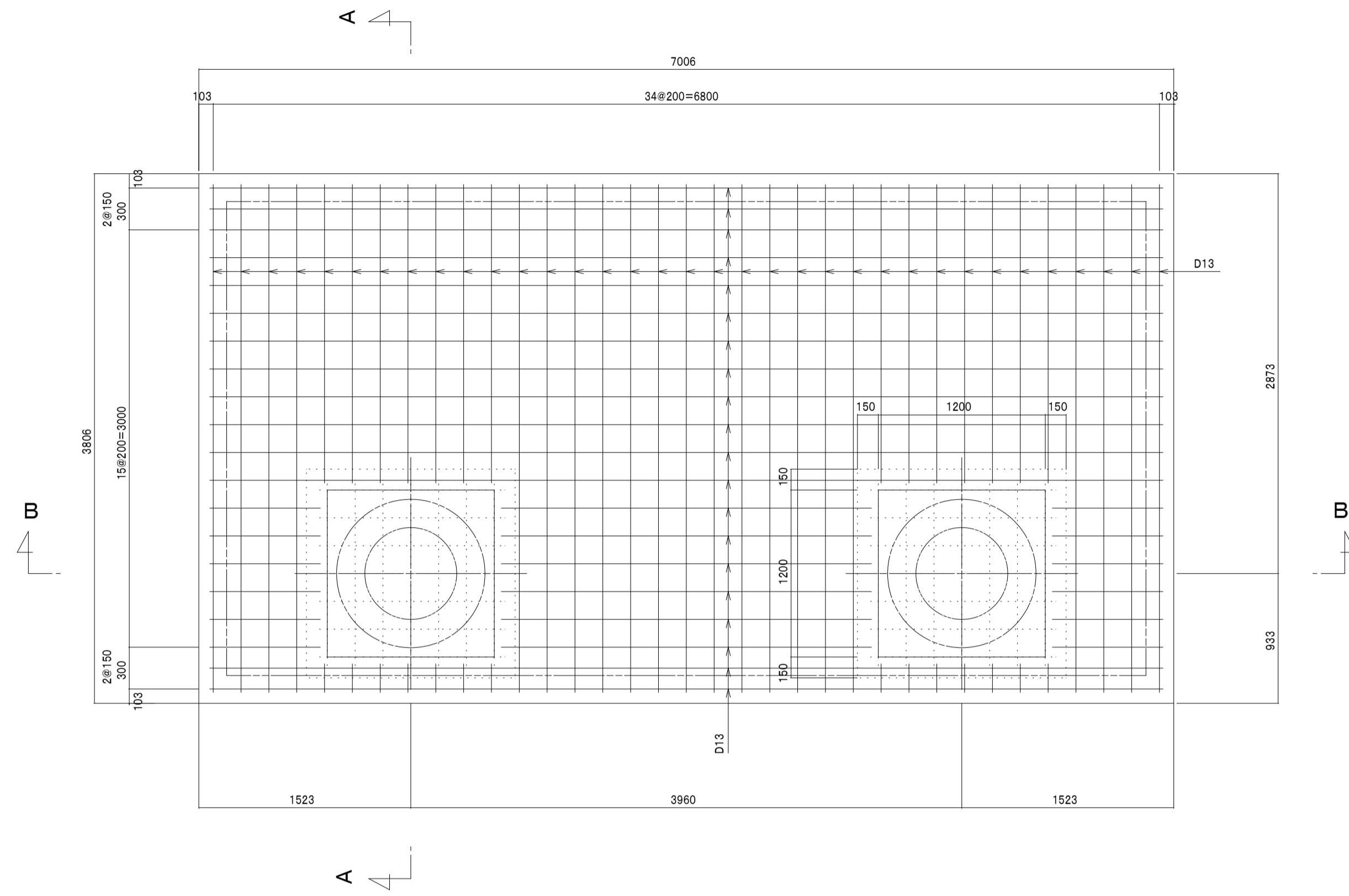


集水ビット S=1/20 断面図

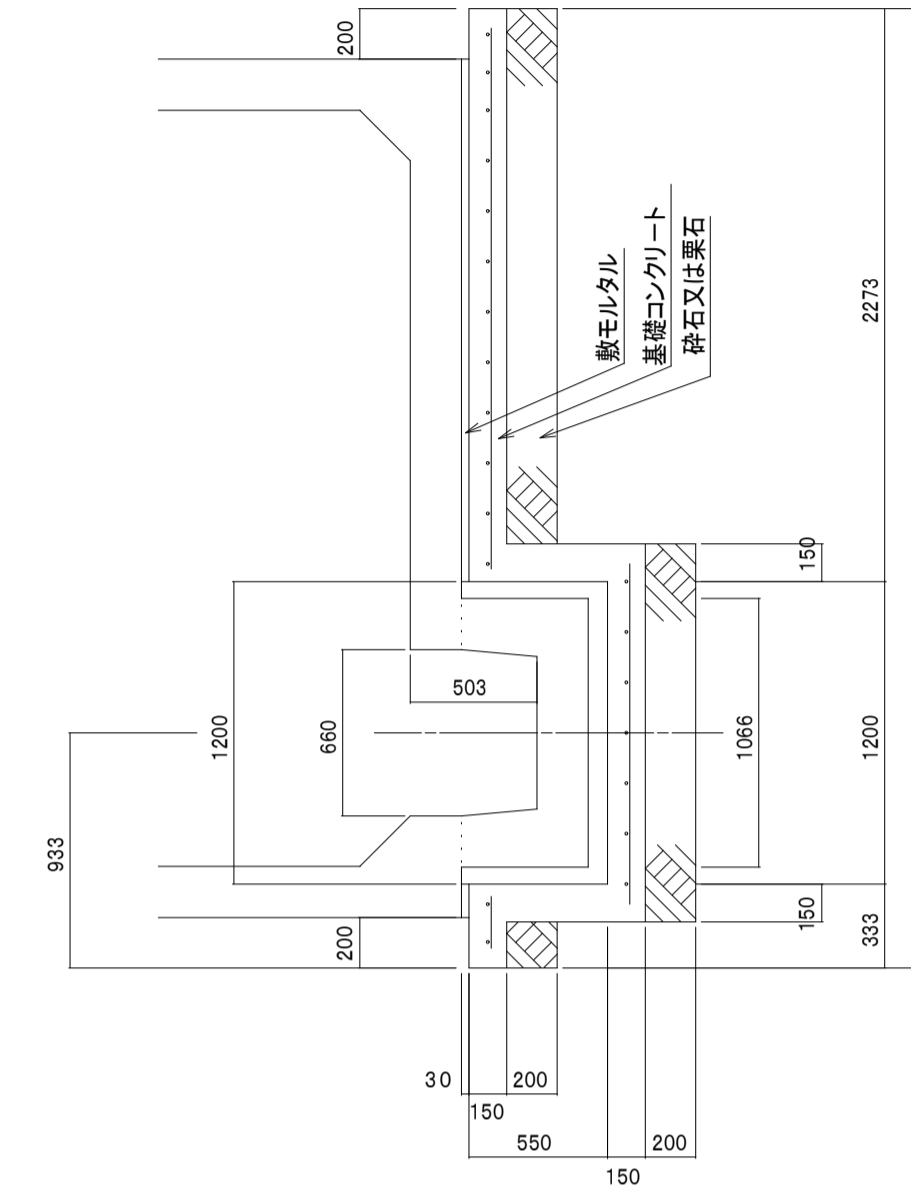


参 考 図

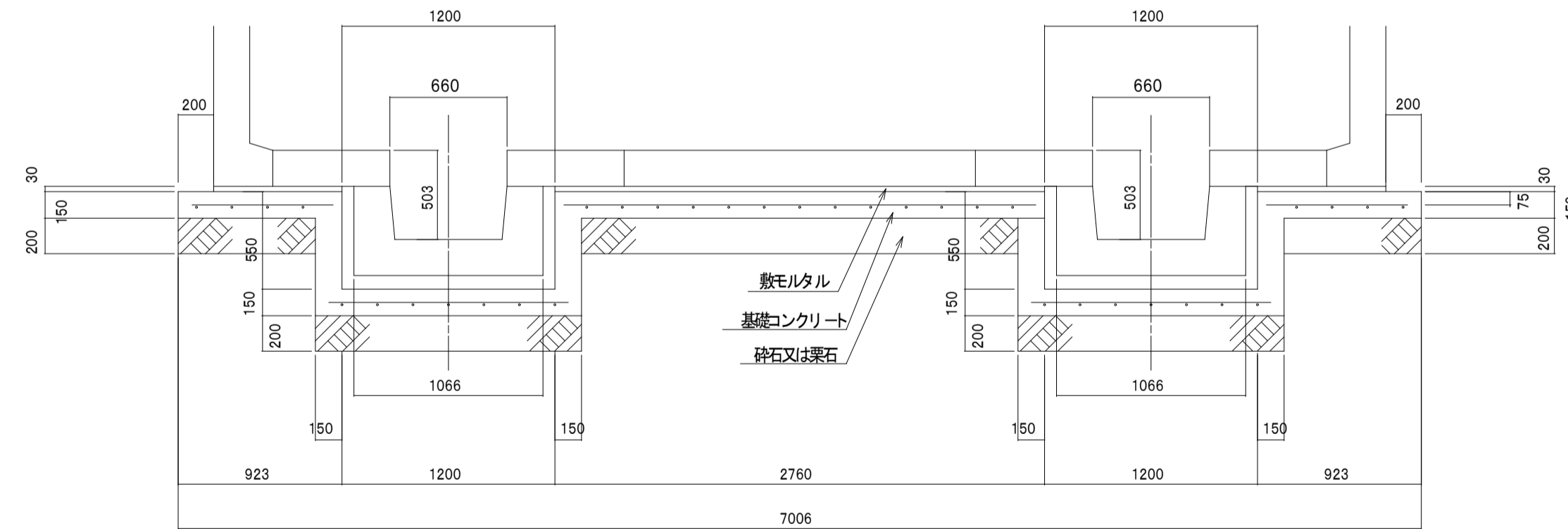
平面図



A-A 断面図



B-B 断面図



基礎コンクリートについて

水槽の基礎については、基礎地盤の調査を行って地盤の強固な場合は均しコンクリート(無筋コンクリート)を基本とし、地盤が比較的柔らかい(中位のもの)場合、砂質地盤でN値が5以上10未満、または粘土質地盤でN値が5以上8未満であれば、基礎コンクリートを鉄筋コンクリートとすることで対応できる。また、基礎地盤のN値が5未満の場合は検討を要する。無筋コンクリートとする場合の基礎の形状寸法は、この図面に基づくものとする。

(参考) 基礎地盤のN値と基礎コンクリートの関係について

基礎地盤	N 値	基礎コンクリート
砂質地盤	10以上	均しコンクリート(無筋コンクリート)
	5以上10未満	鉄筋コンクリート
	5未満	検討が必要
粘土質地盤	8以上	均しコンクリート(無筋コンクリート)
	5以上8未満	鉄筋コンクリート
	5未満	検討が必要

* 鉄筋は、SD295またはSD345を使用する。

基礎コンクリート (18-8-40BB) $V=0.15 \times 3.806 \times 7.006 + (1.5 \times 1.5 - 1.2 \times 1.2) \times 0.55 \times 2 = 4.89\text{m}^3$
 均しコンクリート型枠 $A=0.15 \times ((2 \times 3.806) + (2 \times 7.006)) + 2 \times (1.2 + 1.2) \times 0.55 \times 2 = 8.5\text{m}^2$
 基礎碎石 (RC-40, t=20cm) $A=3.806 \times 7.006 = 26.7\text{m}^2$